

事業番号 2021 - 国交 - 新22 - 0020

令和3年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

事業名	大規模災害時の迅速な道路の状態把握に向けた新技術の導入促進検討			担当部局庁	道路局	作成責任者				
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	環境安全・防災課	課長	荒瀬 美和			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	-					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	災害時の速やかな道路啓開や人命救助・復旧活動支援を行うため、迅速な道路状況把握手法の最適化に向け、道路管理者の求める要求に見合った低コストな技術の導入促進を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	災害時、速やかな道路啓開や人命救助・復旧活動支援を行うためには、発災後迅速な道路状況把握が必要となるが、現在、発災後はパトロールによる目視での状況把握を行っており、状況把握するまでに多くの時間を要している。一方、迅速な状況把握に向けて、新技術の活用・導入促進が期待されているが、「災害時の道路状況把握」に関して求める水準・要求性能が定まっていないこともあり進んでいない。これらを踏まえ、発災後の道路状況把握に求められる水準・要求性能等を整理するとともに、低コストで要求に見合った技術の導入を促進し、迅速な情報把握を推進する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	0	18			
		補正予算	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	-	-	-					
	計		0	0	0	0	18			
	執行額		0	0	0					
執行率 (%)		-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-						
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	道路交通安全対策調査費	-	18	新たな成長推進枠:18						
	その他	0	0							
	計	0	18							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度
	大規模災害時の迅速な道路状況把握に向けた最適な技術の導入促進	成果実績	新技術による迅速な状況把握のために必要な技術水準・要求性能の設定		式	-	-	-	-	-
		目標値			式	-	-	-	-	1
		達成度			%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省道路局調べ(令和3年8月)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
	大規模災害時の迅速な道路の状態把握に向けた新技術の導入促進検討成果の作成	活動実績	式	-	-	-	-	-		
当初見込み		式	-	-	-	-	-			
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
	執行額/検討成果の作成	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-			
		計算式	百万円/式	-	-	-	-			

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	5. 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保								
	施策	15. 道路交通の安全性を確保・向上する								
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時年度	2年度	3年度	中間目標年度	目標最終年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時年度	2年度	3年度	中間目標年度	目標最終年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	道路交通の安全性の確保・向上を担う事業として実施する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	災害時の迅速な道路状況把握のための水準・性能等を検討するものであり、道路管理者である国交省で実施。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	道路交通の安全性の確保・向上を担う事業として必要かつ優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	
	改善の方向性	

**外部有識者の所見**

-

**行政事業レビュー推進チームの所見**

災害の激甚化・頻発化を踏まえ、大規模災害時に新技術を効果的に活用して迅速に道路の状況を把握し、速やかな道路啓開や復旧活動につなげることは重要であり、効果的かつ効率的な調査検討に取り組まれない。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

-

**備考**

-

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

<イメージ>

国土交通省  
18百万円

【検討の企画立案・実施】

↓

【随意契約(企画競争)】

A.民間会社等  
18百万円

〔大規模災害時の迅速な道路の状態把握に向けた新技術の導入促進検討等〕



令和3年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

<b>事業名</b>	ビッグデータを用いた「道の駅」の改善検討業務			<b>担当部局庁</b>	道路局	<b>作成責任者</b>					
<b>事業開始年度</b>	令和4年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和5年度	<b>担当課室</b>	企画課 評価室	手塚 寛之					
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)				<b>関係する計画、通知等</b>	「道の駅」登録・案内要綱 (平成5年2月23日付建設省道企発第19号道路局通達) (平成30年11月19日付国道評第13号道路局長通達にて一部変更)						
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費						
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	道の駅は制度創設以降、休憩施設から地域拠点へと利用目的が変化したことで、新たな活用ニーズが発生しており、近年のDX化の進展を踏まえ、ビッグデータを用いて道の駅の利用状況を詳細に把握し、ポストコロナに向けた道の駅制度の改善の検討が必要である。										
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	道の駅の駐車場利用実態や地域振興施設の来客データを収集・管理および分析を行い、新たな活用のニーズにより生じている道の駅の駐車場容量等の課題に対し、地域振興施設の利用実態に即した駐車場マネジメントや駐車場・トイレの設計基準の策定等により解決を図る。										
<b>実施方法</b>	委託・請負										
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
		当初予算							25		
		補正予算									
		前年度から繰越し									
		翌年度へ繰越し									
		予備費等									
	計	0	0	0	0	25					
	執行額	0	0	0							
執行率 (%)	-	-	-								
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	-	-								
<b>令和3・4年度予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	道路交通安全対策調査費			25	新たな成長推進枠: 25						
	その他		0	0							
	計		0	25							
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度
	地域振興施設の利用実態に即した駐車場及びトイレの設計基準の策定		駐車場・トイレの設計基準の策定		成果実績	式	-	-	-	-	-
					目標値	式	-	-	-	-	1
					達成度	%	-	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	駐車場や周辺道路等の利用データの分析および結果整理、駐車場・トイレの設計基準の策定に向けた検討資料の作成				活動実績	式	-	-	-	-	-
					当初見込み	式	-	-	-	-	1
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額 / 検討成果の作成				単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-	
					計算式	百万円/式	-	-	-	-	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保								
	施策	15 道路交通の安全性を確保・向上する								
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	道路交通の安全性の確保に寄与している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が創設した道の駅制度の改善であることから、国において取組を進める必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	道路交通の安全性の確保・向上を担う事業として必要かつ優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	-
	改善の方向性	-

**外部有識者の所見**

-

**行政事業レビュー推進チームの所見**

道の駅を地域の拠点として多様なニーズに活用することは重要であり、コロナ禍の影響、デジタル化の進展、道路管理者の役割等も踏まえつつ、効果的かつ効率的な調査検討に取り組まれない。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

-

**備考**

-

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



